



ポジションセンサ



スッキリ配線： 電磁弁出力ポート搭載 バルブセンサ

バルブおよびバルブアクチュエータ用
フィードバックシステム



制御用電磁弁をバルブセンサから
直接配線することにより、ネット
ワークの複雑さを軽減

摩耗、閉塞、沈着物が要因の
不具合を検知する自己診断機能に
より、メンテナンスのカスタマイズ
が可能

- LEDカラー表示でセンサポジ
ションを迅速・視覚的に確認
- ワンクリックのエンドポジション
設定で、立上げ工数削減



直接配線により工数削減

MQV201はバルブの位置を高い精度で常時監視します。「オートティーチ」機能により、自動的にバルブのエンドポジションを認識させることができます。制御用電磁弁は独立したM12接続で簡単に接続でき、IO-Linkにより制御可能です。これにより配線と立上げが簡素化され、潜在的な不具合原因の削減が期待できます。

一目でわかる状態表示、メンテナンス情報を適切な時期に提供

認識されたバルブのエンドポジションを2点のスイッチング出力から通知し、はっきりと見やすいLEDで状態表示します。センサは、摩耗、沈着物、異物による閉塞などを示すバルブ開閉時間の変化も検出して、IO-Link経由で通知します。これにより必要に応じたメンテナンスまたは即座のトラブルシューティングが可能になり、長期にわたりコストのかかるプラントのダウンタイムを回避しやすくなります。位置を簡単に特定できるよう、フラッシュモードでは、選択したセンサが緑色に点滅します。



取付け寸法 [VDI/VDE 3845]	シャフト高 [mm]	シャフト寸法 [mm]	入力機能 / 出力機能	精度 / 分解能 [°]	コード No.
-------------------------	---------------	----------------	-------------	-----------------	---------





スマートバルブセンサ・M12 コネクタ・電磁弁出力

80 x 30	20	< 38	2 x NC / NO (切替可能), 2 x NO 電磁弁用	± 1 / 0.1	MVQ201
---------	----	------	------------------------------------	-----------	--------

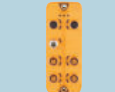

アクセサリ

タイプ	仕様/説明	コード No.
-----	-------	---------

Installation

	アダプタ 80 x 30 mm (VDI/VDE 3845) シャフト高: 30 mm, Ø < 38 mm	E12569
	アダプタ 130 x 30 mm (VDI/VDE 3845) シャフト高: 30 mm, Ø < 38 mm	E12573
	L型取付けプレート 80 x 30 / 130 x 30 mm (VDI/VDE 3845), シャフト高: 20~40 mm, Ø > 38 mm	E12674
	L型取付けプレート 80 x 30 / 130 x 30 mm (VDI/VDE 3845), シャフト高: 30~50 mm, Ø > 38 mm	E12628

IO-Link

	IO-Linkマスタ PROFINETインターフェース	AL1100
	LR DEVICE (USBメモリ接続) IO-Linkセンサおよびアクチュエータの オンライン/オフライン時 パラメータ設定用ソフトウェア	QA0011

共通技術データ

使用電源電圧範囲	[V]	DC10~30
出力閉閉電流	[mA]	2 x 100, 2 x 200 (電磁弁)
検出範囲	[°]	360
逆接続保護		○
短絡保護		○
保護構造		IP 65 / IP 67
使用周囲温度	[°C]	-25~70
許容値	[°]	± 0.1~15
繰返し精度	[°]	0.1
送信タイプ		COM2 (38.4 kBaud)
IO-Linkバージョン		1.1
最小プロセスサイクル時間	[ms]	4
マスタポートタイプ		A
SIOモード		○
プロファイル		スマートセンサ: デバイス認識; デバイス診断; デバイスステータスチャンネル; バイナリデータチャンネル; プロセスデータ変換; データチャンネル測定
外装材質		PA; ステンレスプラグ
寸法	[mm]	95 x 50 x 57

制御用電磁弁ポート搭載

MVQ201には、制御用電磁弁に直接接続するための独立したM12接続があり、IO-Linkから簡単に制御できます。ケーブルの経路を短くし、簡単な取付けでデータ伝送での障害の影響を受けにくくなります。

また、沈着物や摩耗によるバルブの開閉時間の変化などの追加情報が、IO-Link経由で提供され、SMART OBSERVERまたはコントローラでさらに有効な情報として処理できます。

これにより、プラントの状態に基づいたメンテナンスおよび洗浄ができ、コストのかかる計画外のダウンタイムも避けることができます。

